

平成 27 事業年度の業務実績に関する
評価委員会における提言

【素案】

和歌山県公立大学法人評価委員会

公立大学法人和歌山県立医科大学に係る平成27事業年度の法人の業務実績に対する評価及び指摘事項等について、和歌山県及び公立大学法人和歌山県立医科大学に対する各委員の提言を、下記のとおり取りまとめた。

記

【教育・研究】

- 学外実習対象施設での医学部臨床実習については、学生からの評価も反映するなど、今後、さらに実習の質の向上を図る取組が期待される。
また、海外施設での医学部臨床実習については、より多くの学生が参加するような取組が期待される。
- 他職種間連携は、就業後の最も大切なポイントの一つである。4年次の臨床実習入門の最終日に試行した医学部と保健看護学部の両学生が参加する臨床技能試験について、今後の更なる発展が期待される。
- 教員のFD（ファカルティ・ディベロップメント）への参加率が低いことについて、何らかの対策を講じられたい。
- 大学院医学研究科において、国際学会発表数が減少傾向にあるので、国際学会への参加や発表を奨励する取組なども含め、何らかの対策を講じられたい。
- 大学院FD研修会について、開催回数の更なる増加を検討されたい。
- 助産師としての問題解決能力を有する人材を育成するために実施した学生へのアンケート調査の結果を踏まえ、教育内容の改善に向けて必要な対策を講じられたい。
- 基礎医学分野に進む医師が少ないことは長期的な課題である。基礎医学分野における研究体制の充実とあわせ、必要な対策を検討されたい。
- 「医学統計セミナー」や「臨床研究セミナー」を開催していることについては評価するが、参加者数が少ないため、参加者の増加が望まれる。

【附属病院・地域貢献】

- がん診療拠点病院として、疫学的な視点から、和歌山県のがん医療にどのような貢献ができたか等について、長期的、広域的な視点から評価する仕組みの構築について検討されたい。

- 関西公立私立医科大学・医学部連合の設立を契機に、本学のレベルアップを図るため、関西の公立医科大学、私立医科大学と様々な分野において連携・協力していくことが期待される。

【運営体制】

- 紀北分院において、附属病院本院の内科医の協力を得るなどし、適切に医師を配置されることが望まれる。